

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名	伊万里市立伊万里中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 授業のねらいを明確にした「わかる授業」を基盤に、対話や振り返りを取り入れた授業改善を継続するとともに、家庭学習の目的や取組方法を整理し、生徒が主体的に学習に取り組む力の育成を図る。 定期テストに加え、日常の学習活動や振り返りの様子などから生徒の学びの状況を継続的に把握し、その結果を授業改善や個に応じた指導へとつなげ、学力の定着と向上を目指す。 キャリア教育については、1年次から計画的・継続的に取り組むことで、自らの将来を考え、夢や目標をもって学校生活を送ることができる生徒の育成を推進する。
2 学校教育目標	『誇りと志をもち、自ら考え、行動する生徒の育成』 ～「やる気・根気・負けん気」の醸成を通して～ (校訓「涓水精神」) ○形を正す ○挨拶をする ○負けじ魂をもち ○物を大切にす ○思いやりの心をもつ
3 本年度の重点目標	(1) 分かりやすく、楽しい授業の展開 (2) 生徒指導・生徒支援の充実 (3) 心の教育の推進 (4) 家庭や地域、小学校との連携

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者	
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価			
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価 評価 意見や提言
●学力の向上	○効果的なICTの活用による授業改善 ○基礎学力の定着 ○家庭学習の充実	○授業の中で、一人一台タブレット端末を活用し、理解が深まったと回答した生徒が90%以上 ○I-PUT(伊万里パワーアップタイム)で、「基礎基本の問題を解くことができた」と回答した生徒が80%以上 ○AIDノットを使って、家庭学習を行ったと回答した生徒が80%以上	・ICTを効果的に活用し、思考の可視化や共有、振り返りの充実などを通して、生徒が主体的に学びに向かう授業改善を実施する。 ・基礎学力の定着を図るためI-PUT(伊万里パワーアップタイム)を実施する。 ・AIDノット(伊万里中版生活・学習ノート)の活用を通じた自習の徹底と「壁」のワークシートを工夫し、振り返りの時間を十分に確保することで自分の考えを整理させる。 ・書く時間を確保し、人権に関わる放送を定期的に行う。また、生徒の作品の紹介と掲示を行う。 ・いじめの認知・認知に対する対応マニュアルの周知 ・いじめ対応に関する研修会の実施 ・アンケート「心のとびら」の実施(毎月) ・教育相談部会との連携					学力向上C 研究主任	
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上 ●「自分が行きたい高校が決まっている」と肯定的な回答をした生徒75%以上 ○『涓水精神』(校訓)の指導徹底と善悪の判断・自律心の育成	○道徳の授業を通して、自分の意見を周りに伝えたり、他者の考えを受け入れて自分自身を見つめ直したりする生徒70%以上 ○学期ごとに、集会や標語や作文の作成を行う。提出状況90%以上 ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等)のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した職員90%以上 ●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒80%以上 ●「自分が行きたい高校が決まっている」と肯定的な回答をした生徒75%以上 ○『涓水精神』(校訓)の指導徹底と善悪の判断・自律心の育成	・生徒会活動の活性化(生徒を中心とした活動の推進) ・キャリア教育の充実 ・職場体験学習の実施 ・進路学習やエナジード(3年)を用いた学習 ・生徒会と連携して校則の見直しを行うことで、自己有用感と道徳精神高揚を図る。 ・掲示物や放送等で、生徒の善行などを知らせる。 ・登下校や学校生活、集会等で繰り返し指導・声かけを行う。				道徳教育推進 人権・同和教育 生徒指導 各学年主任 進路指導主事 総合的な学習 生徒指導主事	
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ○心身の健康増進のための啓発	●「健康に良い食事をしている」生徒80%以上 ○85%以上の生徒が栄養や食事をとる時間を意識し、自分のコンディションを考慮して調整しようとする。 ○病氣・感染症・ケガの予防・対策を意識して、実践している生徒80%以上を目指す。 ○運動習慣のある生徒80%以上を目指す。	・「朝食について」のアンケートを実施し、朝食の必要性と栄養についての資料提示・講話。 ・運動別の栄養の取り方や運動前の食事の内容と時間について資料の提示と講話。 ・「ふれあいおにぎりday」に向けてレシピを募集し全校に紹介する。 ・生徒や保護者に通信・キュベル・掲示物等を通して啓発や情報の発信を積極的に行う。 ・部活動による心身の健全な育成を行う。					食育教育 保健主事 保健主事	
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○学年・学級事務、校務分掌事務等の業務改善	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上 ○ICTを活用し、情報発信やデータの共有を行い、業務改善に取り組んだ職員80%以上 ○学校連絡網システム(キュベル)を活用し、保護者との連絡調整に努めた職員80%以上	・生徒の完全下校後1時間以内の帰宅を徹底する。 ・出勤システムデータのデータをもとに面談を行い、職員のタイムマネジメント力の向上を図る。 ・長期休業中の年休取得を促進する。 ・Teamsを活用し、情報やデータの共有を行い、業務改善に努める。 ・採点システムを活用し、採点業務による持ち帰りの負担軽減を図る。 ・学校連絡網システム(キュベル)を活用し、保護者との連絡調整に努める。					管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育の専門性向上 ○LITALICOへの完全移行	○特別支援教育に関する知識を高め、高い専門性と意識をもって取り組む職員90%以上	・定期的な校内支援委員会の実施。 ・個別的教育支援計画・指導計画作成の推進活動。 ・SC.SSW、医療、福祉等の関係機関との連携。					特別支援C	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者	
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果		学校関係者評価 評価 意見や提言
○生徒指導・生徒支援の充実	○校訓(涓水精神)の徹底指導と善悪の判断・自律心の育成 ○生徒主体の活動推進と生徒による自浄作用の支援 ○いじめや問題行動等の早期発見と組織的な対応の徹底	○校訓を答えることができる肯定的な回答をした生徒・保護者90%以上 ○行事等の運営を生徒主体で実施 ○いじめや問題行動等の早期発見と組織的な対応の徹底が実践されていると肯定的な回答をした生徒・保護者80%以上	・学校だよりを配布し、さらに連絡アプリを活用し周知徹底を図る。 ・生徒の小さな成長や努力を認め、ほめるこからはじめる。 ・生徒会にできることを増やし、学校運営の一部を任せることで、生徒の主体性を高める。 ・学校運営協議会(コミュニティスクール)やPTAを中心に、地域や保護者との連携・協働した教育活動を推進する。 ・各学期にオープンスクールを行い、保護者の授業参観や学校行事への参加率を高める。 ・学校HPや学校だより等で情報発信に努める。						生徒指導主事 教育相談
○開かれた学校づくり	○コミュニティ・スクールやPTAを核とした地域や保護者との連携・協働 ○地域や保護者への積極的な情報発信と連絡調整	○「学校は地域や保護者と連携・協働して教育活動を行っている」と回答する保護者90%以上 ○「授業参観や学校行事に参加している」と回答する保護者70%以上 ○「学校は情報発信に努めている」と回答する保護者80%以上	・学校運営協議会(コミュニティスクール)やPTAを中心に、地域や保護者との連携・協働した教育活動を推進する。 ・各学期にオープンスクールを行い、保護者の授業参観や学校行事への参加率を高める。 ・学校HPや学校だより等で情報発信に努める。					管理職 情報推進リーダー	

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------